

事業概要

事業の枠組み

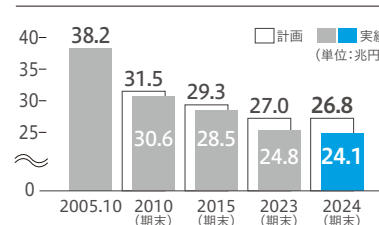


日本道路公団民営化の目的

1. 旧道路関係4公団合計で、約40兆円にのぼる有利子債務を確実に返済すること。
2. 必要な道路を、会社の自主性を尊重しつつ、早期に、できるだけ少ない国民負担のもとで建設すること。
3. 民間企業のノウハウを発揮し、多様で弾力的な料金設定を実現し、お客さまに多様なサービスを提供すること。



高速道路機構の債務残高



※全国路線網(NEXCO3会社)、首都高速道路、阪神高速道路、本州四国連絡高速道路、及び全国路線網以外の一般有料道路を含む

高速道路の料金徴収期間

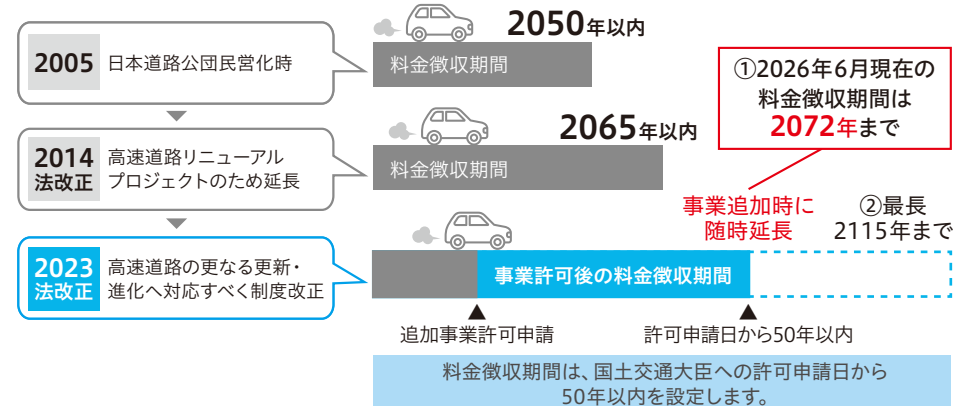
▶ 高速道路の有料道路制度

高速道路の有料道路制度は、早期に道路整備を図るため、借入金によって道路を建設し、完成後に、お客さまから通行料金を収受することで、借入金を返済していく制度です。この通行料金の水準は、道路の建設や維持管理に要する費用を、ある一定期間内で償還できるようにするという観点から決定されています。

▶ 料金徴収期間

当社設立後、料金徴収期間は、2回の変更が行われました。2023年の法律改正では、①料金徴収期間は国土交通大臣への事業許可申請日から50年以内に設定するものとし、②料金徴収期間の設定は最長で2115年を期限とすることとなりました。

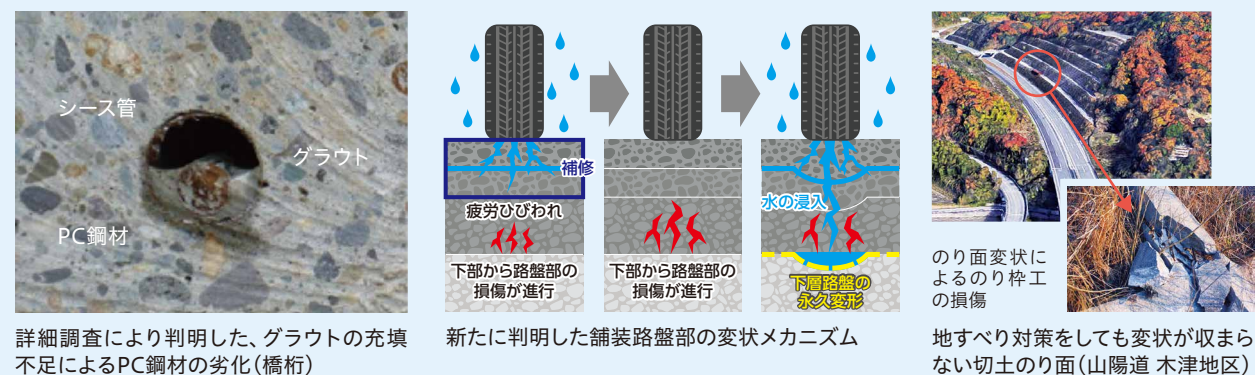
民営化後、現在までの料金徴収期間



2023年の法律改正の概要

老朽化や社会・経済構造の変化に対応した迅速かつ計画的な更新事業・進化事業を実施するために、2023年5月、道路整備特別措置法及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法が改正されました。

更新 点検技術の高度化を踏まえた詳細調査の結果、著しい変状が確認され、新たな更新事業が必要



- 橋梁**
 - ・床版取替(P.21-23)
 - ・グラウト充填材の再注入
- 土工舗装**
 - ・舗装路盤部の高耐久化(P.22)
 - ・地すべり対策をしても変状が収まらない切土のり面のボックスカルバート化+押え盛土

進化 社会・経済構造の変化などにより生じた、社会的要請を満たすための機能向上が不可欠

暫定2車線区間の4車線化(P.37-38)/耐震補強(P.25)/SA・PAの利便性向上 等



短時間限定駐車マス(P.46)の実証実験



中期経営計画2030

MOVE! 2030

当社グループは、2025年10月に創立20周年という節目を迎え、新たなステージへと歩みを進めます。その指針として、2026年4月に中期経営計画「MOVE! 2030」を策定しました。私たちは「前進」「変革」「挑戦」「感動」をキーワードに、高速道路の機能とサービスを一層向上させ、地域の発展と豊かな未来の実現に貢献します。

「MOVE! 2030」策定の背景

近年、当社グループを取り巻く経営環境は急速に変化しています。自然災害の頻発化・激甚化、資材価格の高騰や労務費の上昇が顕著となり、さらに働き方改革、物流2024年問題、自動運転による物流効率化、脱炭素社会の実現に向けた取り組みなど、社会的課題への対応が求められています。こうした状況のもと、私たちは「100%の安全・安心」の追求はもちろん、高速道路の強靱化や災害対応力の強化、新たな物流システムへの対応、休憩施設の利便性向上と魅力アップなど、事業量の増大に対応しながら、これまで以上に果敢に挑戦します。

MOVE! 2030



「MOVE! 2030」というタイトルに込めた思い

- MOVE! = 前進** 社会・地域とともに未来へ進み、持続可能な成長を目指す。
- MOVE! = 変革** 全てのグループ社員が、主体的に考え、行動し、変革を実現する。
- MOVE! = 挑戦** 技術革新や環境変化をチャンスと捉え、柔軟に進化し続ける。
- MOVE! = 感動** 心を動かす価値を創造する。

役員の声

「進化2025」の振り返りと「MOVE! 2030」始動にあたって

当社グループでは、2021年に中期経営計画「進化2025」を策定し、高速道路ネットワークを計画的に整備するとともに、重要インフラである高速道路の安全を24時間365日維持し、お客さまに安全・安心で円滑な交通を提供するという使命を果たしてきました。2026年4月には、近年の社会情勢や高速道路を取り巻く環境の変化等を踏まえて、新たな中期経営計画「MOVE! 2030」を策定しました。工事の安全管理の徹底、事業マネジメントの高度化、デジタル技術の積極的活用に加え、自ら考え変革をリードする人財の育成を通じて、高速道路事業の確実な推進と高度化、関連事業の更なる展開を実現し、高速道路の未来を切り拓いていきます。

代表取締役副社長執行役員 経営企画本部長 後藤 貞二



「MOVE! 2030」の3つのビジョン

「MOVE! 2030」では3つのビジョンのもと、グループ理念の実現を目指します。

ビジョン1 Move up! 安全・安心を追求し、高速道路を未来へつなげる。

- 高速道路ネットワークをつなげる [P.33-35]
- 高速道路ネットワークを強化する [P.33-34, 36-38]
- 自然災害に備え災害対応力を強化する [P.25-26, 29-30]



新名神高速道路 大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC



広島呉道路4車線化工事

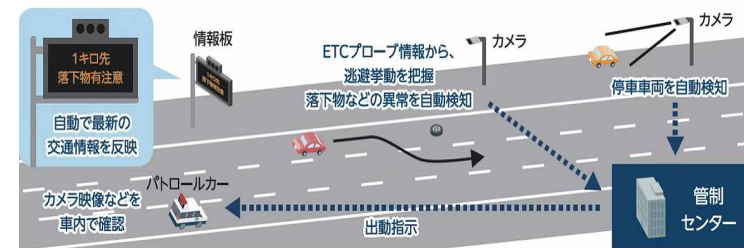


除雪作業状況

- 大規模更新・大規模修繕を推進する [P.21-24]
- 高速道路の安全・安心をいつまでも守る [P.19-20]
- 交通安全対策を推進する [P.27-28]

ビジョン2 Move ahead! 新たな価値を創造し、地域とともに発展する。

- 高速道路の機能を進化させる [P.41]
- SA・PAの魅力高める [P.45-50]



道路管理情報の高度化イメージ



第二神明道路 明石SA (上下集約型) リニューアル (イメージ)

- 事業領域を拡大する [P.12]
- 地域とともに新しい魅力をつくり続ける [P.43-44, 51-52]
- 海外に事業を展開する [P.68]

ビジョン3 Move forward! 社会から信頼され、着実に歩み続ける企業を目指す。

- 脱炭素社会の実現に向けて取り組む [P.61-64]



SA・PAでの電気自動車(EV)急速充電設備の整備



SA・PA建物屋上での太陽光発電

- 受発注者双方が円滑に業務を遂行できる環境をつくる [P.11, 16, 19-20]
- 社員が活躍できる環境をつくる [P.55-60]
- DXを推進する [P.11, 19-20]

DXを推進する

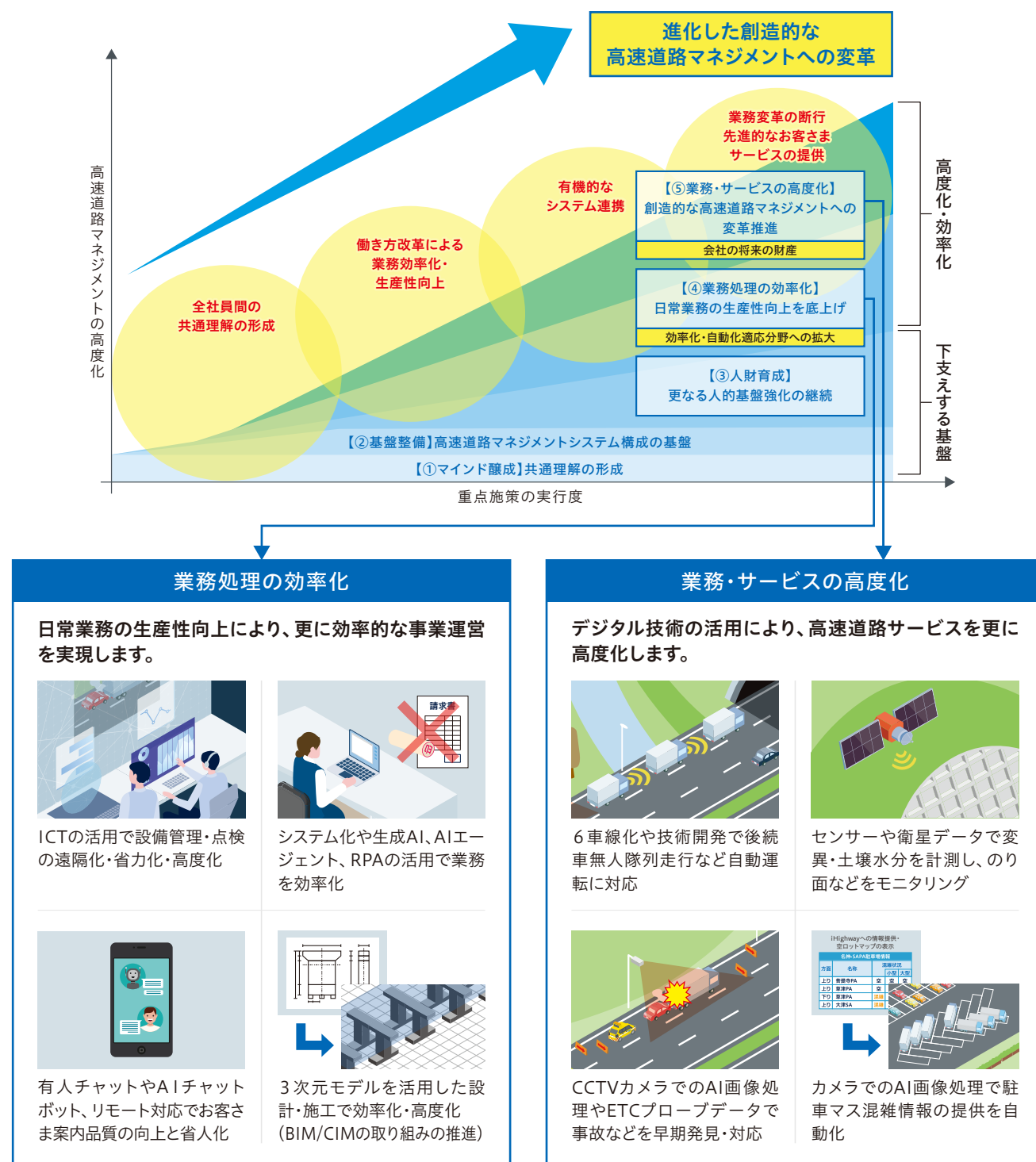
当社のDX戦略「NEW ACE DXs」に基づき、新しいデジタル技術を導入・活用することで、高速道路マネジメントの高度化、業務効率化と自動化の実現を目指します。

DX戦略



▶ NEW ACE DXsとは…

「西日本高速道路」の「NEXCO West」の単語の頭文字 N・E・W に「先進的な挑戦と進化がDX戦略を推進する」を意味する「Advanced Challenge and Evolution will drive DX strategy」から、先進的なチャレンジの「Advanced Challenge」、進化「Evolution」の単語の頭文字 A・C・E を組み合わせて定めたものです。



DXによる高速道路マネジメントの高度化、業務効率化イメージ

TOPICS

ビジョン2 新たな価値創造の取り組み

「空飛ぶクルマ」と「高速道路」の連携

(株)SkyDriveと共同で、次世代モビリティとして期待される「空飛ぶクルマ※」と「高速道路」が連携する新たなモビリティ社会の可能性を追求します。将来のサービス実現を目指し、高速道路ネットワークを活かした「空飛ぶクルマ」の利活用策を検討していきます。

※空飛ぶクルマは、電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です。諸外国では、eVTOL (Electric Vertical Take-Off and Landing aircraft) やAAM (Advanced Air Mobility)/UAM (Urban Air Mobility)と呼ばれています。

出典:国土交通省「空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組について」2025年10月21日 (https://www.soumu.go.jp/main_content/001036460.pdf)



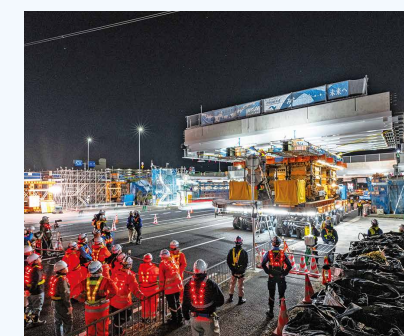
SA・PAにおける空飛ぶクルマの活用イメージ

「進化2025」を振り返って

2021年に、未来の進化した高速道路の姿を描きながら将来のありたい姿について5つのビジョンを示し、その実現のために、中期経営計画「進化2025」を策定し、事業に取り組んできました。

コロナ禍の影響で、交通量やSA・PAの売上が減少する等、取り巻く経営環境が激動する中ではありましたが、グループ社員が丸となって安全・安心を最優先に高速道路の進化に挑み、「進化2025」の様々な取り組みを進めました。

- 高速道路の安全・安心をいつまでも守り抜く [P.19-24,27-30]



高速道路リニューアルプロジェクト (中国道 宝塚IC)

- 多発する自然災害から地域と暮らしを守り抜く [P.25-26,33-38]



徳島南部道開通 (吉野川サンライズ大橋)

- 新しいモビリティ社会に向けて高速道路を進化させる [P.41,45-46,49]



駐車マス拡充 (中国道 安佐SA(上))

- 高速道路の顧客体験価値を高める [P.47-48]



九州道 北熊本SA(上下線)リニューアルオープン

- 持続的に進化する企業を目指す [P.19-20,43-44,51-52,61-64,68]